

主 文

本件各上告を棄却する。

当審における訴訟費用は各被告人の負担とする。

理 由

被告人三名弁護士竹内金太郎の上告趣意（後記）は憲法違反を主張するけれども、所論各公判調書には欄外に裁判長の認印があり、刑訴規則四六条一項に依り適法有効のものであるから、所論違憲の主張はその前提を欠き、適法な上告理由にならない。また記録を調べても刑訴四―一条を適用すべきものとは認められない。

よつて同四―四条、三八六条一項三号、一八―一条により裁判官全員一致の意見で主文のとおり決定する。

昭和二八年九月八日

最高裁判所第三小法廷

裁判長裁判官	井	上	登
裁判官	島		保
裁判官	河	村	又 介
裁判官	小	林	俊 三
裁判官	本	村	善 太 郎